

第4章 推進に向けての取組

1 子どもが読書に親しむ機会の提供

(1) 子どもと本を結ぶ

- ア. 各施設がそれぞれの特色を活かし、子どもとその保護者が読書に親しむために「おはなし会」や講座の開催など、読書の意義についての理解を深め、推進に繋がる読書活動の取り組みを積極的に行う。
- イ. 保健センターにおいては、ブックスタート事業をさらに推進し、乳幼児が絵本とふれあう機会の一層の充実を図る。
- ウ. 幼稚園・保育所（園）においては、乳幼児期から絵本を読む楽しさを伝えるために、読み聞かせや図書館見学を継続・充実するとともに、絵本の貸出を保護者にも行い、家族ぐるみの読書活動の展開を図る。
- エ. 町立図書館においては、今後も職場体験や一日図書館員などの実施を通して図書館への理解を深めるとともに、テーマ別の展示会を充実するなど館内での機会の提供はもちろんのこと、積極的に各施設に出かけ、本の紹介やオリエンテーションを行い、読書活動の推進を図る。

(2) 読書指導・利用指導

- ア. 学校においては、今後も読書の時間（朝読書など）を設けたり、教科の指導と繋いでありして読書指導を一層積極的に進める。また、子どもたちが図書館に親しめるよう、学年に応じた利用指導を充実する。
- イ. 町立図書館においては、子どもの読書相談に応じるなどして、子どもと本を結ぶ努力を続ける。